



- 1 重点課題を明確にしたPTA活動の推進と情報発信
- 2 子どもたちの健全育成のための各種審議会との関わりの中で、研修を深め、学び実践するPTA活動の推進
- 3 単位PTAをつなぐ要として、つながり、達成感を持ち、親としての成長を実感できる活動の推進

CONTENTS

- ▶ 1面 市長・教育長と語る会
- ▶ 2面 入間地区役員等研修会
- ▶ 3面 ICT化推進事業
- ▶ 4面 広報紙コンクール・周年行事校の紹介
- ▶ 5面 東ブロックの活動・表彰
- ▶ 6面 自転車保険(個人賠償保険)市P連70周年事業

発行 所沢市PTA連合会
 編集 所沢市PTA連合会東ブロック
 (松井小・安松小・牛沼小・和田小・柳瀬小・東所沢小・東中・安松中・柳瀬中)
 24,500部

市長・教育長と語る会がオンラインで開催されました

第29回市長・教育長と語る会が、1月13日(水)午後6時より約1時間、オンライン配信で開催されました

藤本正人所沢市長 長岡伸一南陵中学校長 古山智啓市P連副会長



大岩幹夫教育長 藤巻裕市P連会長

◎藤巻会長から市長へ質問

【所沢市のコロナ対策について】

市長から、下の資料を提示して主に学校に関する施策の説明がありました。



◎藤巻会長から教育長へ質問

【所沢市の学校のコロナ対策について】

国・県のガイドラインをもとに所沢市教育委員会としての教育全般に対する万全の感染防止対策の説明がありました。消毒や換気などのためのスクールサポートスタッフや子どもたちのストレスや不安に対応するためのアンケートや担任の先生を中心としたコミュニケーションについてもお話がありました。

◎藤巻会長から、教育長への質問

【行事の開催方法が学校で違うのは?】

「各学校の重点目標や児童生徒数や学級数、学校の特色なども異なっており、各学校がそれらに即して教育活動を実施することが望ましいと考えている。運動会や体育祭も、各学校が実態に応じて工夫し実施した。広い心でおおらかに学校の取組を見ていただきたい。」

◎藤巻会長から教育長への質問

【臨時休業の授業の遅れは?】

「今後、臨時休業などがなければ、年度内に予定のカリキュラムは終了できる。高校入試も試験の範囲を狭めるなど、高校の取組もあるので安心してほしい。」

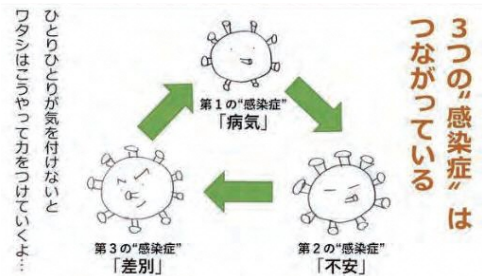


◎藤巻会長から市P連の本年度の取組について説明がありました。

広報紙コンクールやコロナ禍でのICT化(ホームページの作成やオンライン会議)などです。

◎古山副会長からは、学校PTAの支援として「見える化プロジェクト」の説明がありました。

【3つの感染症】



◎藤巻会長から教育長へ質問

【GIGA スクール構想とは?】

「24000人の児童生徒が一人一台のコンピュータを使える準備を進めている。ICTはあくまでも学習の道具なので、ICTを活用して学習効果を高め、より主体的で発展的な学習を追求させたい。オンライン学習が目的ではない。」

◎藤巻会長から市長への質問

【PTAの役割とは?】

「自分に子どもができてからは、地域の人と子どもがつながり、地域と親がつながり、親どうしがつながっていった。こうやって社会につながるんだと感じた。PTAと言うのは、組織として存在し、絶対に必要な存在である。どうすれば子どもと社会と親がつながっていただけるのか、考え方の工夫をすることが大切。『PTAなんかいない』ではなく、『PTAは必要だね、どうしたらこのPTA活動を続けていけるのか』と考えていくことが大切だろう。」

◎藤巻会長から長岡校長へ質問

【南陵中学校のようすについて】

コロナ禍での南陵中学校の様子について話していただきました。

家庭へのお願いとして、ストレスを抱える子どもたちの心のケアに加えて、「コロナ感染症の3つの感染」に触れられました。

「3つの感染とは、1つ目がウイルスへの感染、2つ目が不安への感染、3つ目が差別の感染である。この『3つの感染』について、南陵中学校をはじめ、市内の全ての学校が、コロナ禍において差別が生まれないような指導や取組を行っている。思いやりの気持ちが持てるよう、ご家庭でお話していただきたい。」

◎差別・偏見については教育長からもお話がありました。

「例えばこういう風な家庭の話があったとします。『あそこの家のお母さんは、病院に勤めておられて大丈夫だろうか』と話をするのか、『あそこの家のお母さんは、病院に勤めておられる。ほんとに大変な時期に立派だね』と話すのがいいのか。子どもはこれを聞いて、真似をします。ぜひ、大人がまず差別や偏見を許さないことを子どもに示していただきたい。」

◎藤巻会長から教育長への質問【PTAの役割とは?】

「子どもを健全に成長させるには、PTAと学校には強い絆と連携が必要である。家庭教育学級も、家庭の教育力の向上に加え、保護者どうしの交流の場として重要である。今後も子どもの成長のために、お互いに理解をして、前に進めるような姿勢で話し合い、議論していきたい。」

最後に市長から一言

「PTAの皆さんが、親として支えてくれるから先生たちも頑張れる、感謝されて力が出る。つながっているから、わかりあえるというもたくさんあると思う。」



◎藤巻会長から長岡校長へ質問【PTAの役割とは?】

「親同士のつながりという意味でも大きな意義がある。子育てで悩んでいる保護者の方が少なからずいる。親同士が顔なじみになり、悩んでいる親を孤立させず、助け合う・支え合うことが大切なのではないか。」

最後に教育長から一言

教育について「子どもの前にある障害を、大人がそれをどかして『どうぞ、何も障害はありません。そこを進んでください』と言った育て方になっている傾向が強いような気がする。そうすると、子どもの自立心とか想像力、責任感や人への思いやりは身に付かない。大人は、子どもたちが障害を乗り越えるのを我慢して、信頼して見守っていく、そしてどうしてもという時に応援の手を差し伸べるような育て方を学校と家庭で一緒になってやっていかななくてはいけない。学校と家庭、地域の方を交えて議論をしていただき、子どもの育て方について考えていただきたい。」

◎藤巻会長から「PTAの役割」について

「PTAの役割は、時代とともに変化しつつある。平成30年度の市P連のパネルディスカッションでは、3つの弊害として、ルール主義、平等主義、前例踏襲主義が挙げられたが、それを打破するために『達成感』『人とのつながり』『親としての成長』がキーワードで示された。具体的な役割として『親どうしの助け合い、支え合い』にもっと焦点をあてる必要がある。」

◎古山副会長から「PTAの在り方」について

「親どうしの助け合いという視点から、PTAを見直すと別の姿が見えてくる。仕事で時間の取れないひとり親をどう支援してどう参加できるようにしてあげられるか、ICTを活用できないか、障がいをもつ保護者や外国人の保護者にもPTAに安心して参加できるような方策はないのか、などである。大がかりな活動ではなく、学級単位での小さな支え合いが大切だと思う。」

人間地区PTA連絡協議会主催 PTA役員等研修会 11月20日(金)

- (1) 演題：「子どもの自信とやる気を伸ばし、よりよく育てる」
- (2) 講師：國學院大學人間開発学部 初等教育学科 教授 杉田 洋 氏 (すぎた ひろし)

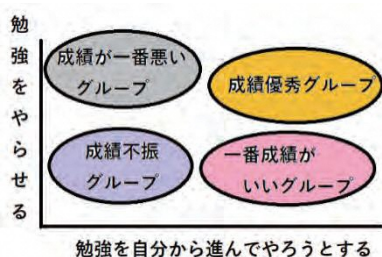
藤巻所沢市PTA連合会会長の司会で研修会はスタートしました。最初に西部教育事務所の江原指導主事からご挨拶をいただきました。杉田先生の講演から、特に印象に残ったことを報告させていただきます。

自分で考える、決められる子どもに育てる

「親の子育てが、変化しなければならぬ」開口一番でした。杉田先生は、人間の骨格作りは家庭の仕事だからこそ、子育ても変化する時代に応じるべきだ、その例としてアメリカでは10～20年後には約47%の仕事が自動化されるという研究を紹介されました。

そんな未来を生きるには、「ただ知識を覚えるだけの教育は過去のもの、学んだ知識をどう使えるかという能力が大切。子どもよりも多くを知っているだけが、親や教師の役割ではなくなった。自分で考え、選択し、責任を持てるよう、小さな時から、子どもに考えさせる、自分で取り組ませるべき」と力説されました。指示待ちの子どもに、指示を出し続けているのはその親です。

さらに「子どもをせき立てるだけでは、力は伸びません!」右の図のように、成績が最も伸びるのは、本人の内発的やる気が高く、親の外発的動機付け(やらせる)が少ない環境だという研究情報に説得力がありました。「恕」という孔子の



言葉は、「すべてを許す」という意味だそうです。「子育ても、文句ばかりではきりが無い。許して、次を期待しましょう。きっとできるよ、次はできるよ」って、子育ての時代の親むけの熱い思いをいただきました。いじめ問題については、「弱い人間を攻撃しない」ことは、家庭で身につけるべき人としての基本だという言葉も忘れられません。

自尊心が自信とやる気の原動力に

杉田先生は、「特別活動」の専門家です。特別活動とは、教科以外のすべての学校の教育活動を指します。例えば、掃除や係活動などの学級での活動や学校行事です。これからの時代に求められる、「自分で考え、選択し、決定に責任を持つ」ことは、この特別活動で多く学ぶそうです。特別活動は、日本の学校だけのもので、今海外から注目が集まっており、エジプトやシンガポールでは、子どもに掃除をさせるようになったそうです。人に褒められ、人の役に立ち、人に必要とされることで、潜在能力を引き出し、自信とやる気の原動力となります。特別活動は、目的的に、能動的に、自覚的に生きることを学ぶ場であるとも言われました。反抗期の子どもにとっても、内面の葛藤を暖かく抱擁し、子どもと向き合い、自立をめざした厳しい指導と支援が大切だというお話に納得です。

こうした指導を行う日本の教員は、世界最高レベルであり、学校と親は対立関係になってはならない、特にPTA役員の方々には、そうした問題で表に立っていただきたいと言われました。杉田先生の「学校だけで子どもを育てる時代は、とっくに終わった」という言葉からも、真摯に頑張られている先生方を、PTAが支えていかななくてはと考えさせられました。杉田先生に見せていただいた、様々な特別活動のビデオに涙した講演会でもありました。

(文責：編集委員)

所沢市PTA連合会ICT化推進事業について

新型コロナウイルス感染症の発生によって、所沢市PTA連合会も運営や実施方法について、検討を余儀なくされました。しかし、市P連の事業を継続するという判断のもとで、対面形式を維持するために、これまで手が付けられなかったICT化に取り組むこととなりました。おかげ様で、PTA会員向けの研修だけはできませんでしたが、その他の大きな事業(PTA会長・役員等研修会、広報紙コンクール、市長・教育長と語る会、常任理事会等の会議)は進めることができました

1 わらい

- ① ICT通信環境をもつことで、情報を広く伝え、また経費を削減できます。
- ② オンラインによる会議・研修会ならば、会議の場所に制約されずに、どこにいても参加できます。
- ③ 単位PTAのICT化を促し、活動の効率化と充実の両立を図ります。

(1) 市P連のホームページを作成します

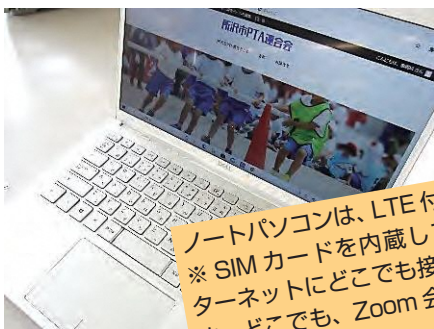
- ・お知らせや活動の内容を、どこでも知ることができます。
- ・所沢市PTA連合会の総合補償制度について、事故やけが、損害を与えた場合の対応がすぐにできます。また、自転車保険やかけこみ110番の家の保険内容についても、いつでも知ることができます。
- ・PTA活動の見直しや改革を進めるための情報にアクセスできます。
- ・市内の小中学校のPTA活動の様子を知ることができます。

(2) オンラインによる研修会や会議を進めています

- ・Withコロナ時代は、たくさんの人が集まる会議に制約があります。オンライン会議のための通信環境を整備して、書面による会議だけでなく、ICTを活用した対面の会議を行います。

(3) 単位PTAのICT化を支援します。

- ・すべての児童生徒にコンピュータが貸与されますが、PTA活動の中ではまだまだICTは未知の領域です。導入から活用まで、幅広く研修会を実施します。
- ・市P連で使用するコンピュータやWebカメラを貸与するだけでなく、学校での活用を支援します。
- ・市P連のホームページから、単位PTAの情報発信を行います。



ノートパソコンは、LTE付きです。
※SIMカードを内蔵して、インターネットにどこでも接続できます。どこでも、Zoom会議が開催できます。



ブロック会議の様子です。



🔍 所沢市PTA連合会

【新型コロナ感染大拡防止にむけて 所沢市PTA連合会からお願い】

- ◆発熱やせき、倦怠感などのかぜ症状が、本人や家族にあった場合は、感染防止のためにしっかりと休ませましょう。
- ◆PCR検査や濃厚接触の際も、休ませましょう。
- ◆感染したり休んだりしている人を、差別したり、いじめてはいけなことをしっかりと教えましょう。
- ◆医療従事者やエッセンシャルワーカーへの感謝の気持ちをもたせましょう。

感謝の気持ち!



【今年度の活用実績】

- ◎ホームページによる情報発信
(見える化プロジェクト・ICT化推進事業・市P連団体保険について
・PTA会長研修会など)
- ◎オンライン会議(常任理事会・理事会・ブロック会議)
- ◎PTA会長研修会のオンライン実施
他市町村からの講師をオンラインで招待し、研修会を開催。
- ◎市長・教育長と語る会のオンライン実施
YouTube配信(市長・教育長と語る会・PTA研修会録画ビデオの限定配信)

学校PTAでのICT活用例

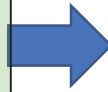
- ①顔を合わせる会議は重要ですが、会議に行けない時でも参加できます。
- ②研修会には行きたいけど、都合がつかない⇒録画をYouTubeで共有できます。時間のとれない保護者やひとり親家庭の学びの機会を保障できます
- ③市P連のWebカメラを活用ください。4~6名程度の会議を配信できます。
- ④市P連のコンピュータは、どこでもインターネットに接続できます。オンライン会議などでぜひ活用ください。

【令和2年度所沢市PTA連合会・広報紙コンクール】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、例年とは違う形で審査が行われました。

例年のコンクール

- 期日：8月の2日間
- 審査員：各学校のPTAから代表者135名
+市役所の広報課長等3名
(審査だけでなく、たくさんの方に他校の広報紙を読んでいただく機会を作っています。)
- 表彰：第1回理事会にて、会長から代表へ手渡し
- 審査対象：前年の8月から本年度7月までに発行されたPTA広報紙



コロナ禍でのコンクール



- 期日：8月の1日間
- 審査員：東ブロックPTA会長8名
+市役所の広報課長等3名
- 表彰：各学校で校長先生から手渡し
- 審査対象：多くの学校が、緊急事態宣言の影響で、新年度号の発行が遅れたり、できなかったりしたため、部数が減りました。(参加校：小21校、中14校)

【市内コンクールの結果】

	金賞	銀賞	銅賞	努力賞
小学校	荒幡小学校	牛沼小学校	所沢小学校	東所沢小学校
	南小学校	上新井小学校	中富小学校	明峰小学校
	柳瀬小学校	椿峰小学校	松井小学校	
	山口小学校	若松小学校	三ヶ島小学校	
中学校	金賞	銀賞	銅賞	努力賞
	向陽中学校	美原中学校	北野中学校	山口中学校
	三ヶ島中学校	安松中学校	狭山ヶ丘中学校	

広報紙は、所沢市PTA連合会のホームページに一部掲載されています。ぜひアクセスしてください!

所沢市PTA連合会



【入間地区広報紙コンクールの結果】

	金賞	銀賞	銅賞	
小学校	南小学校	荒幡小学校	牛沼小学校	椿峰小学校
		山口小学校	上新井小学校	若松小学校
中学校	銀賞		銅賞	
	向陽中学校	三ヶ島中学校	美原中学校	安松中学校

今年度 入間地区PTA役員等研



北野小学校40周年

北野小学校では、昨年度より後援会とPTAが中心となり実行委員会を立ち上げました。10年後に伝えたいという思いに支えられたコロナ禍での記念事業となりました。



「祝開校40周年」横断幕、全校児童・教職員の航空写真をプリントした記念ファイル、記念誌の作成など行いました。ファイル・記念誌は、日頃からお世話になっています地域の方々へも配布しました。

現在、コロナ禍にあり、世の中が混乱している中ですが、そんな中でも子どもたちの明るい笑顔がとても救いとなっていることを日々実感しています。

PTA会員として、毎年毎年、活動することは大切なことですが、周年事業の節目を迎え、活動し続けた結果、今まで築き上げてきた結果が一つの道となり、それを振り返った時に、その道そのものが大切だと実感しました。

これからも北野小学校が築き上げてきた歴史と伝統の礎に、更なる発展を心より願っています。



向陽中学校50周年

向陽中学校では、今年開校50周年を迎えました。

今年はコロナ禍で学校行事も制約がありますが、中学校50歳の誕生日が子どもたちの思い出になるよう工夫しています。



まずは、開校記念日に「50周年宣言」を行い、校長先生が「HAPPY BIRTHDAY」でお祝いしました。次に、向陽中卒業生の先生をはじめ縁ある方々の対談を給食の時間に放送しました。また、10月29日には中学校のモチーフである「ひまわり」を生徒たちが描くジャイアントアートを製作し、校舎 全面に展示し、2日間で400名以上の方にご覧頂き、生徒たちの思い出を作ることが出来ました。

さらに、「向陽中の50年の歩み展」と題し、開校から最近の様子までの写真などのパネルを市役所やまちづくりセンターに展示しました。最後まで生徒、先生、PTA、地域の方々で楽しんでいきたいと考えています。



【子どもを守るための、学校と地域、PTAをつなぐ取組が全中学校区で行われています】

安全安心な学校と地域づくり推進支部会議・東中学校区支部 活動報告

(東中学校、松井小学校、牛沼小学校) 支部長名 井関 義邦 (所沢市立東中学校長)

(1) 「いじめ撲滅」について

★学校での取り組み

- ・「アンケート」いじめ防止に向けた様々なアンケートを定期的に実施。
- ・「心の救急箱」ポストを設置し、子どもたちの小さなSOSを見逃しません！
- ・「東中学校区生徒指導主任会議」校区3校の先生が集まり、未然防止・早期発見対応・解消に向け話し合い。
- ・「弁護士の出前授業」法律から見たいじめを6年生が受講し、いじめを予防。

★各団体での取り組み

- ・「いじめはしません」少年野球チーム、サッカーチームで約束します。
- ・「登下校の見守り」毎日の登下校の子どもたちの様子を見守り、必要な場合は声かけをします。



弁護士さん
出前授業

【課題】

- ①交通事故0を目指す。
- ②いじめは、どこの場合でも起こりうる⇒きめ細かく子どもに寄り添い、早期発見、早期対応、早期解決、再発防止。
- ③「あいさつ」が学校の誇り⇒中学校区の児童・生徒に自覚させる。
- ④子どもの言葉遣い⇒保護者も含め、少し乱暴な言葉遣いに気をつける。

(2) 「交通事故防止」について

★学校での取り組み

- ・「安全指導」命に係わる事故になる！自転車の乗り方指導。
- ・「年末パトロール」教職員、PTA、おやじの会共同で実施。

★各団体での取り組み

- ・「登下校時の見守り活動」「パトロール」
- ・「環境整備」事故を未然に防ぐために、公道の障害物除去、通学路の樹木剪定を行い、見通しをよくする。
- ・「警察との連携」スクールゾーン通行違反、大型車通行違反、スピード違反車両の取締りを要請。

(3) 「地域行事への主体的参加」について

新型コロナウイルス感染拡大のため地域行事の多くが中止となり、参加が難しい状況でした。

★各団体での取り組み

- ・「東川の水質検査」地域の方ともに東川の水質調査を実施。
- ・「校庭の除草作業」東中の教職員、地域の方々、PTA、おやじの会、後援会の有志で除草作業を実施。

(4) 「地域ぐるみのあいさつ運動」について

★学校での取り組み

- ・「挨拶運動」月毎の生活目標に合わせ、教師と子どもが一緒にあいさつ運動。

★各団体での取り組み

- ・「パトロール」地域ごとに会員の家を回るパトロールを実施、声をかけると元気な返事があり、注意に対しても「すみません」等気持ちの良い返事が返ってきます。
- ・「登下校時の挨拶の声かけ」小学校パトロール隊の「いってらっしゃい」「おはようございます」の声かけ。

東ブロック学校区には、所沢市の「クールジャパンフォレスト構想」により「ところざわサクラタウン」「角川武蔵野ミュージアム」が誕生しました！

近隣の小学校がプレオープン時に見学しました！
岩石みたいな外観と本棚劇場は一見の価値あり！

【今年もたくさんの表彰団体が生まれました！おめでとうございます】

☆ 「交通安全功勞団体」北小学校
(交通安全推進協議会)



☆ 「地球にやさしい学校大賞」

市長賞：清進小・山口中
 教育長賞：宮前小・小手指中
 入選：明峰小・安松小・和田小
 向陽中・中央中
 努力賞：伸栄小・富岡中

(「地球にやさしい学校大賞」
選考委員会)

☆ 「所沢市地域安全功勞団体」

泉小学校
 (防犯協会・
 暴力団排除
 推進協議会)



所沢市PTA連合会の保険のご案内

所沢市PTA連合会では、3つの保険を準備しています。

①自転車利用者向け保険（個人賠償責任補償）

埼玉県で加入が義務づけられている自転車利用者向けの保険です。自転車事故だけでなく、日常生活の賠償責任（窓を割った、レンタルスキーを折ったなど）もカバーします。

※他の保険に比べ、格安です。ご案内は、学校より配布済みです。4月1日保険スタートなら、3月26日までにお申し込みを！

②所沢市PTA連合会総合補償制度

PTA活動中のけがや対人対物賠償、借用物への損害などをカバーする保険です。市P連の加入の保護者・児童生徒・同時参加の未就学児が対象です。

③かけこみ110番見舞金制度

子どもを守るために被害を受けた場合、お見舞金が支給されます。

こちらの情報は、詳しくはホームページに掲載してあります。そちらもご確認ください。



レモンさん (山本シュウ)

合言葉は「We are シンセキ！」

● ラジオDJ
教育・地域問題・H1V/エイズの啓発等の話題に取り組み「パワフルDJ」、2008年10月から全国でも聴取率トップ「リアル」のパーソナリティーとして、数多くの子どもたちのおおむねに耳を傾け、決して音を外すことなく、自分で考え、自分で行動し、子ども自身の勇気溢れる力を引き出してきました。

● 大学講師 / コーチ
小学校のPTA会長・顧問、2007年からは→大阪大学で「教職課程」を教える人脈講師として、すでに10年以上続けている。プロコーチの資格を持ち、メンタルコーチとしてプロ、日本代表クラスの選手などのサポートにも従事。スポーツに限らず、自ら考え行動する人間作りなどを伝える「スポーツメンタルコーチング協会」を全国で開校。

● NHK Eテレ「バリバラ」メイン司会
日本で初めての聴覚者のバラエティー番組としてスタート。「日本一攻めいる番組」と話題となる。現在は、多様性の社会を目指し「生きづらさを抱えるすべてのマイノリティー」の「バリバ」をなくすための内容に広げ、その中で楽しく番組を盛り上げる司会者として活躍中。

● 総合プロデューサー
TERU(GLAY)/小田朝正・桜井和寿 (Mr.Children) など、これまで数々の著名人が参加している、厚生労働省主催のAIDS啓発イベント「RED RIBBON LIVE」の総合プロデュースを2006年から担当。

レモンさん 情報!!

☆所沢市PTA連合会70周年事業が1年延期されました。記念式典は12月4日開催予定！
☆講演者は、「レモンさんこと山本シュウ」
☆70年の歴史とこれからのPTAの未来を展望します

2021年度 所沢市PTA連合会 会員の皆様へ

所要時間 約6分32秒に1件

自転車事故が発生しています

自転車通学・通勤やサイクリング中などの事故への備えは万全ですか?

自転車利用者向け保険

万が一のリスクに備えよう!

団体傷害保険 ご加入のすすめ

傷害総合保険 (普通傷害型・交通傷害型)

個人賠償責任補償 + 示談交渉サービス付 (日本国内のみ) <ご家族全員が対象>

埼玉県自転車条例に対応しています。

埼玉県内で使用される自転車保険の加入義務化!

自転車は軽車両です! 下記のようなリスクがあります。

- 他人にケガをさせる
- 他人の家の塀を破損させた
- 自分がケガをする

ポイント1 個人賠償責任補償特約限度額2億円!
● 示談交渉サービス付 (日本国内のみ) 交渉は保険会社が行うので安心!

ポイント2 自転車事故10日常生活の賠償責任も補償!
● 本人・ご家族が加害者に!? 日常生活の賠償事故も補償します。ご家族全員対象!

ポイント3 ケガの補償、交通傷害、普通傷害、選べる補償!
● 本人の交通事故によるケガ、または日常のほとんどのケガの補償どちらか選べます。

◆ 保険契約者 所沢市PTA連合会

◆ 被保険者 所沢市PTA連合会 会員の皆さま

◆ 保険期間 令和3年4月1日午後4時から
令和4年4月1日午後4時まで1年間
(注) 新中学3年生の年齢は令和4年3月31日午後4時までとなります。

◆ 申込締切日 令和3年3月26日(金) 中途加入は毎月受付中!

◆ 加入依頼・払込 同封の払込取扱票にご記名のうえ、ゆうちょ銀行・郵便局でお支払いください。

【傷害総合保険ご加入皆さまへ】
2021年1月1日以降に保険期間が開始するご契約について、個人賠償責任補償等の保険料・補償内容の改定を行っています。更新に際し、改定後の内容にご案内しますので、必ず本パンフレットをお読みいただいたうえで、お申込みくださいようお願いいたします

交通事故によるケガの補償 A・B・Cタイプ 交通傷害型

傷害補償 被保険者本人 (児童・学生・教職員)

日本国内・国外を問わず、所定の交通乗用具との衝突、接触等の交通事故または交通乗用具に搭乗中の事故によりケガをされた場合等に、保険金をお支払いします。

例えは...
● 車にはねられてケガ
● 自転車で転倒してケガ
● 自転車道でぶつかるケガ
● バスのステップでケガ

日常生活のほとんどのケガの補償 (交通事故を含みます) Dタイプ 普通傷害型

傷害補償 被保険者本人 (児童・学生・教職員) <部活やスポーツ団のケガもOK> おすすめ!

日本国内・国外を問わず、急激かつ偶然な外来の事故 (以下「事故」といいます。) によりケガをされた場合等に、保険金をお支払いします。

例えは...
● 交通事故によるケガ
● スポーツ中のケガ
● 落下後倒れてケガ
● 盗んでケガ
● 部活動でケガ
● 家内でのケガ
● マゲドを食う

個人賠償責任補償特約は全タイプ共通! 最高2億円補償!

個人賠償責任補償 被保険者本人とご家族が対象 <ご家族全員が対象>

日本国内外で日常生活で生じた偶然な事故により、他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したり、誤って線路に立ち入ったことなどにより電車等運行不能にさせたこと等によって負う法律上の損害賠償責任を補償します。

例えは...
● 自転車で行先と接触してケガをさせた
● 自転車運転中に駐車中の車に接触してキズをつけた
● 子どもがボールで他人の家の窓ガラスを割った
● 日本国内で友人から借りたカメラを海外旅行先で落として壊してしまった
● 自転車を道端中に踏み切内で立ち往生してしまい、電車を止めた
● 飼い犬が他人に噛みつきケガをさせた
● レンタルスキーを折ってしまった

● 割制引は、本団体の前年の加入人数により決定しています。次年度以降、割引率が変わることがありますので、あらかじめご了承ください。また、団体の加入人数が10名を下回った場合は、この団体の割制引は成立しませんので、ご了承ください。

編集後記

コロナ禍での活動となり、ブロックでの編集会議はオンラインを使用しました。不慣れで思うようにいかない事もりましたが、東ブロックの会長さんや事務局の方々にご助力いただき感謝しています。単位PTAでもオンラインの活用が広まりつつある中、更なるICT化推進の一助になれば幸いです。